

2009 年欧州自転車展示会予定

2009 年欧州自転車展示会について、いくつかの新しい動きが見られたため、ドイツ、イタリア及びフランス 3 カ国の現況を以下の通り報告する。

1. ドイツ； 新展示会 BIKE-EXPO の出現

メッセミュンヘンは 2009 年 7 月 23 日～26 日の 4 日間、新たな展示会「BIKE-EXPO」の開催を決定した。それに呼応しドイツ二輪車共同購入組合（ZEG）が同展に参加することを、自らのプレスリリースにて正式に発表した。それによると ZEG は同展に 3,000 m²にも及ぶ巨大小間を確保、従来、昨年終焉したケルン展（IFMA）に組合員を招待していたが、今年はミュンヘンをその場所を選んだ。

同展は 23、24 日がビジネスデー、25、26 日はユーザーデーとなっている。主催者は従来の車種別や品目別ではなく「City」や「Nature」など新しい出展分類を行い、更に別途「E-BIKE」を加え、電動アシスト車を重視する姿勢を打ち出している。また、エンドユーザー集客のため、屋外ゾーンに BMX のダートコースやフラットランド、更に 20Km にも及ぶ自転車競技コースも用意、併設イベントにも力を入れている。



メッセミュンヘン

2009 年開催が具体化したのが本年 2 月、開催時期が 7 月末に迫っていること考えると、準備期間は半年に満たず、今回どのくらい出展参加者が集まるのか未知数ではある。この夏季休暇真っ只中の開催は参加する小売店側からは不評であり、早くも開催時期再考の要望が出始めている模様である。しかしながら、ドイツに数ある見本市会場の中でも大規模なメッセミュンヘンと、欧州有数の購買団体 ZEG という強力コンビが EUROBIKE に真っ向から勝負を挑む形となり、ドイツ自転車市場を重視する企業にとっては、同展の今後の動向や成否には注視せざるを得ない。

現在、世界最大規模の EUROBIKE は 2009 年 9 月 2 日～5 日開催予定であり、有力購買団体 BICO は本年から小間を従来の 250 m²から一気に 1,000 m²に拡大する予定である。また、今年完成の B5 ホールにはいくつかの有力出展者が他ホールから移動する予定もあり、同展への新規希望者には出展参加は引き続き狭き門となっている。

更にケルンメッセが IFMA 終焉により、2010 年には 10 月 6～10 日開催予定のオートバイ展 INTERMOT と自転車展を統合させ、再び二輪車展とすることを計画しており、ドイツの自転車展は更なる競合の時代に突入していくことになる。



EICMA2008 の様子（コルナゴ）



2007 パリ展の様子

2. イタリア； 9月にぶつかり合う2展示会

2007年からミラノ展（EICMA）は9月単独開催の自転車展を11月開催のオートバイ展と再び統合して二輪車展に戻った。しかし、11月ではビジネスショーとしては時期的にあまりに遅いという不満により、2008年9月にパドバで新たな展示会「Expo Bici」が始まった。パドバ側では昨年の成功により毎年開催を決定、本年は2009年9月19～21日開催予定である。

EICMAは昨年の出展状況を踏まえ、2009年9月18～21日に新たに自転車単独のビジネスショーを設け、更に従来どおり11月11～15日にはユーザー向け大規模二輪車展を開催する二段構えの構想を打ち出した。9月開催時期もパドバと重複させ両展は真っ向から対決する形となった。イタリア自転車産業界の各出展社がどちらの展示会を選ぶのか大変注目される。

3. フランス； ドイツ、イタリアの間隙を縫う戦略

パリ国際二輪車展は現在、隔年開催となっており2009年は開催年である。従来の9月末開始から時期をずらし、本年は10月2～5日に開催時期を変更した。同展は2010年より毎年開催への変更を昨年末に公表したばかりであった。ケルン展の終焉、ミラノ展の二輪車への統合及び二回開催といった状況を踏まえ、EUROBIKEに次ぐ欧州第二の地位を目指した戦略ではあったが、上記のようにドイツ、イタリア両国で新しい展示会が出現し競合状態に突入した今、その戦略は再考の必要が生じている。

以上

（デュッセルドルフ事務所）